

2009 年度

井川 見事初マラソンで日本人最高4位

別府大分毎日マラソン (大分県:大分市)

井川重史

マラソン 2時間11分04秒 (4位)

別府大分毎日マラソンは7日、大分市高崎山(みたま)前をスタートして大分市宮陸上競技場にゴールする新コースで行

われ、一般参加で初マラソンに挑んだ徳島県の井川重史(大塚製薬)が2時間11分4秒で日本勢トップの4位に入った。(15)

井川(大塚製薬) 4位 別府大分マラソン



初マラソンに挑み、日本勢トップの4位でゴールした井川=大分市宮陸上競技場

別府大分マラソン 井川重史(大塚製薬) 日本勢トップ

積極性光る期待の新鋭

低学年が競う大分市マラソン界に期待の新鋭が現れた。今月初旬の別府大分毎日マラソンで、一般参加ながら2時間11分4秒で日本勢最高の4位と健闘した26歳の井川重史(大塚製薬)。初マラソンの感想を問われ「もっさり」と思ったけど意外と大丈夫だった。淡々とした語り口に飛躍の可能性を感じさせた。

エリート街道と無縁の存在だ。大阪・河津町、京産大時代は目立たぬ実績もなく、実業団で実力を伸ばした。箱根駅伝を走った選手でも社会人になつてしまえば同じ。自分は「天賦晚成」と呼ばれた」と強気な一面をのぞかせる。河野匡監督は教え子の武器を「人間力」と表現し「いい意味でプライドも高いし、向上心がある。打ては響くタイプ」と分析した。

「新人の登門」とも呼ばれる大会で種性を前面に出したらしい。前半は集団の中を走り、35分以降に先頭に出て再三仕掛ける度胸と冷静さを見せた。最後はスプリント勝



別府大分毎日マラソンで4位の井川=7日、大分市宮陸上競技場

五輪視野 飛躍の予感

最近、若手のマラソン離れに危機感を持っている陸上関係者は多い。だが井川は「マラソンのためにトレーニングの目標タイムを決め、それを破ってから挑戦」と綿密な計画を立て、五輪や世界選手権も視野に入れる。シドニー五輪マラソン代表の大塚製薬ヘッドコーチは「マラソンの適性があるのは分かっていて」と期待を込めた。